

尾村県議の質問(続き)

生存権が保障される政治を

尾村県議は、県内において国民健康保険料が払えず、保険証が取り上げられた人は15000人を超え、介護保険料未納者は4000人に達している厳しい暮らしの実態を指摘し「県民の福祉と健康を守る仕事を最優先することこそ、県政の使命だ」と強調。「一人ひとりの生存権を保障するために、県の

誘致企業は社会的責任を

尾村県議は、2009年度から2014年度の5年間で、誘致企業の新従業員数は3216人増加したものの、正規雇用者数の増加はわず

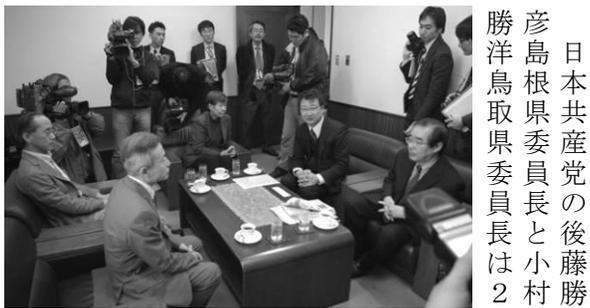
金を受け取っている誘致企業に積極的な正規雇用の拡大、県内企業との取引強化など社会的責任を果たすよう強く要請すべき」と要求しました。

TPPの批准中止を

2015年の「農林業センサス」において、県内の農業就業人口は2万4841人で、5年前の2010年の3万2271人から7430人の減少となり、平均年齢は70歳を超え、高齢化が一段と進行している実態を紹介した尾村県議は「この状態が続けば、15年後には島根農業が消滅しかねない危機的事態」と強調しました。

野党統一候補へ前向きな一歩

島根・鳥取共産党が福島氏と会談



日本共産党の後藤勝彦島根県委員長と小村勝洋鳥取県委員長は2月25日、参院鳥取・島根選挙区に無所属で立候補を表明している元消費者庁長官の福島浩彦氏(59)と米子市で会談しました。(写真)

今後、候補者の一本化に向けて中央段階での合意と確認、島根・鳥取両県での野党間の合意、日本共産党両県委員会の決定をめざしたいと話しました。

者の正社員化と均等待遇、長時間・過密労働の是正など人間らしく働けるルールの確立と労働条件改善の施策強化を求めたのに対し、安井商工労働部長は「関係機関と連携していきたい」と答えました。

大に向けて、非正規労働者に大に

戦争法廃止へ 歴史的な5野党合意

安倍政権を必ず引きずり降ろそう

5野党の歴史的な合意のあと、市民のみなさんの反応がはつきり変わってきました。

2月26日に懇談した香川県三木町の筒井敏行

明確なる行動を起こすべきた」と迫りました。

原発周辺の活断層の徹底調査を

中国電力は、宍道断層の長さの評価を「22キロ」から「25キロ」へと変更しました。4度目となる活断層延伸は全国でも例がありません。

2月11日から12日にかけて地質学が専門の立石雅昭・新潟大名誉教授

の丁寧な説明を求めるとともに、万全の対策を講じるよう引き続き要望していく」と答弁しました。

ととも、宍道断層西端付近の鹿島町・佐陀本郷や島根半島海岸線の地形など、宍道断層の現地調査を実施した尾村県議は、立石教授の知見を紹介しながら質問しました。

尾村県議は、立石教授の宍道断層が東にさらに伸びる可能性があると指摘を踏ま

びんびん伝わってきました。会場で「わしも歴史を動かしたい」と、自ら入党を申し込まれた方も生まれました。

合意は自公勢力には大きな衝撃を与えています。茂木選対局長は「自民公明の安定政権か、民共合作の革新勢力か」「我々がたたかうのはひ弱な野党ではない。その裏で着々と勢力を伸ばしている共産党とたたかう」と敵意むき出し。堂々と受けて立ちました。必ず安倍政権を引きずり降ろし国民連合政府をつくりましょう。わくわ



参院比例 候補 春名なおあき

爽風 エッセイ

町長は開口一番「とうとう共産党も清水の舞台から飛び降りましたね」。高知市の徳谷であいさつ回りをしている「英断にびつくりしました」とある女性。倉敷市玉島での田辺まみさんとの街頭演説では、ご夫婦が寒い中、最後まで演説を聞いてくださり「安倍政権を倒すチャンスが来た」と激励。小路きゆき愛媛選挙区候補との松山市内での街頭演説にも通りすがりの方がたくさん手を振ってくれました。



2月24日、高知市で我が青春時代の伝説のローカルバンド「リアル&クズ」が一夜限りの再結成。会場はまるで30年前にタイムスリップしたかのよう。青春時代がよみがえり、懐かしい仲間との交歓で楽しい一夜でした。(2016年3月6日付)